

圧倒的なビジネス情報量を誇る、日本最大級のデータベース

日経テレコン活用ガイド



新連載

情報収集・発想をプロに聞く! 日経テレコンSpecialコラム

「好き」「興味がある」を生かそう

第1回 内田和成さん
早稲田大学名誉教授、経営学者



CONTENTS

クリッピングに新機能が追加!
進化する日経テレコン

便利な定番コンテンツから、
最新の注目コンテンツまでご紹介

情報戦略のパートナーツール

 日経テレコン

「好き」「興味がある」を生かそう

日本経済新聞の情報データベース、日経テレコンをご利用いただいている皆様に、インタビューシリーズをお届けします。各界のスペシャリストに情報収集や発想法のコツを聞きます。第一回目は、早稲田大学名誉教授で経営学者の内田和成さんです。



—情報収集にあたってまず必要なことは何でしょうか。

収集にあたってはまず自分が体験し、感じる肌感覚が大事だ。レストランに行くと一人で食事をする女性が増えたことを体感する。昼間から一人でビールを飲んでいる。働く女性が増えていることや、お酒は夜というこれまでの常識が崩れていることなど、さまざまな背景を感じる。

この間久しぶりにハワイに行ったが、コーラが400円もした。日本の4倍とか5倍に相当する。インフレで物価が高いことを実感したわけだが、これだけの値段のものを買えると言うことはそれだけ賃金も上昇しているということだ。一方で日本の物価は安いままだ。日本がある意味、グローバルの流れから取り残されていることを体感した。

—データを活用する際に気をつけるべきことはありますか。

最初に既存のデータ(二次情報)を使い、それをベースにスタートすると大きな成果を得にくい。ありもののデータでは経験に裏打ちされた生情報(一次情報)には勝てない。情報はインプット(収集・発見・気付き)から情報の加工・分析・編集、そして情報の発信という流れをたどるが、インプットでは検索エンジン等に頼らず、アナログで臨むべき。公開され広く行き渡った情報からスタートすると、陳腐な結果になりがちだ。

データベースを確認・検証に使う

ダイバーシティがはやっているが、どの会社も同じような内容のものをやっている。金太郎あめのように、自分たちの本当の多様性や個性を出すところに至っていない。情報

集めに際し、データを出発点にした切り口では、アナリストなどの専門家にはかなわない。まず自分の仮説をもとに情報を集め、自分の感じた肌感覚が合っているのかどうか、アウトプットにつなげる前の確認・検証段階でデータベースを使うのが効果的だ。そういう使い方をしないとオリジナルのものを生み出せない。データベース自体は何かを検証したいと思ったとき、気軽にアクセスできることが大事だ。

情報収集に際しては、自分の関心事を大事にするのがいい。私の場合、IT業界とかEVとか、興味のある分野の情報が目に飛び込んできやすい。たとえばテスラと日産自動車の「リーフ」の対比だ。最近は街中でテスラをよく見るが、リーフはあまり見ないなどといったように、自分の興味対象の情報は蓄積しやすい。自分ごとに置き換え、自分のスタンスをベースに情報に接するのがいい。

本は、折り曲げたり付箋を貼ったり、書き込むのが記憶に残る。いろいろチェックしたけど、結果的に情報を忘れることもある。忘れるような情報は大したことがないので捨てるといい。

エネルギーはアウトプットに注ごう

情報収集にエネルギーをかけすぎるのはよくない。大事なのはあくまで情報の活用でありアウトプットだ。95%の時間を情報整理に充てたのに、活用する時間が5%しかないのでは本末転倒。収集にはあまり時間を費やすことなく、収集(インプット)2・活用(アウトプット)8くらいの比率で臨みたい。

トレンドを観察していて、一過性のブームですぐ廃れるのか、それとも長期的に定着するのか見分けるのは難しい。タピオカミルクティー、パズルゲームの「ぶよぶよ」、たまごっち、スタバのコーヒーなどいろいろなはやりがあった。自社のビジネスに直結するような流行であれば自分ごととしてとらえ、「進出する」「進出しない」といった判断を迫られる場合がある。興味を持って物事に接し、経験値を積み上げていくことで、重要な決断などに必要な予知能力を高め、勘を働かせることができるようになる。

—こうした能力を高めるにはどうしたらよいですか。

肌感覚を磨き仮説思考力を高めるには、トライ&エラー

を繰り返すことだ。飲食店選びを例に取ってみよう。人の紹介で行ったり、店構えで選んだり、入り口のパターンは様々だが、こぎれいで、一見よさそうに見えても「外れ」になることもある。それでも失敗を通じて経験値を積み重ねていく。食べログの評価値では低いけれどもおいしい、そんな店を多く見つけたらして、自分なりの手法を積み重ねていく。それが独自の価値を生み出し、ほかとの差別化につながる。

情報の「引き出し」を持っておくのが役立つ。まず頭の中にリストを持ってみる。食事であれば誰もが、こういうケースではここを使おうといったアイデアを持っているはずだ。仕事の場合も好きなテーマから始めてみる。リーダーシップとか経営とかITといった興味のある分野で情報を集めてみる。引き出しが徐々に増えていくなか、自分の関心がないものや興味が薄れてきたものは捨てる。こうして時を重ねればアイデアが熟成し、やりたいことが見つかるはずだ。



自分の「好き」を大事にしよう

好き嫌いという感情をもう少し大事にするべきだと思う。仕事でも「好き」とか「おもしろい」「楽しい」をもっと前面に押し出していい。もちろん、会社・組織の一員としてやらなければいけないことをこなすのが前提になるが。

—アイデアを熟成させる際、何を心がけたらよいでしょうか。アイデアを熟成させるには放っておくことだ。アウトプットを必要以上に意識するのはよくない。新しい企画を考える

際にシステマティックにやるのは難しい。樽の中でふつつたぎるのを待つ。結局、アイデアを熟成させるにはある程度の経験や年数を要するもの。対象分野は広げすぎてもよくない。ある程度絞らないとよいものが生まれないうだろう。

三つ星レストランのシェフが一番頭を悩ませるのが新メニューの開発だ。話を聞いてみると四六時中考え、あれこれ材料で実験したり、素材を求めて探し回ったりしている。しかし実際にメニューを思いつく、ひらめきのタイミングは、散歩に出たときや道ばたの雑草を見たときだったりする。何かの刺激をきっかけに、これまで蓄積したものがあふれ出し、スパークするわけだ。

余談となるが、ステーキ店はおいしさへのアプローチやこだわりがさまざま面白い。たとえば産地にこだわるシェフもいれば、肉の仕入れでよい状態の肉を入手しようとするシェフもいる。また、熟成する期間を工夫しておいしさを引き出そうとするシェフもいる。アプローチの手法は違うが、おいしいものを提供したいという目的地は同じだ。

第一人者になろう

自分の殻を破り、好きな分野を得意分野にして、第一人者になろう。そうすればリタイアした後の60歳、70歳になっても生かすことができる。多種多様な分野にスペシャリストがいるはずなのに、私たちは専門家をあまりに狭い分野に限定して考えすぎではないか。お好み焼き屋さんにもものすごく詳しいというのでいいし、塗装の専門家でも、ヤスリの権威でも、給食の盛り付けの専門家でもいい。分野は無数にある。ターゲットを決め、そこでの第一人者になることをめざすのがいい。「このテーマなら●●さんだね」と言われるようになれば理想的だ。

内田和成(うちだ かずなり)さん

早稲田大学 名誉教授。東京大学工学部卒業。慶應義塾大学大学院経営管理研究科修了(MBA)。日本航空を経て、ボストン・コンサルティング・グループ(BCG)入社。2000年6月から04年12月までBCG日本代表。06年には「世界でもっとも有力なコンサルタントのトップ25人」(米コンサルティング・マガジン)に選出された。2006年から2022年3月まで早稲田大学 大学院経営管理研究科(ビジネススクール)教授。22年4月より現職。著書に『仮説思考』『論点思考』『右脳思考』『イノベーションの競争戦略』(東洋経済新報社)、『異業種競争戦略』『ゲーム・チェンジャーの競争戦略』(日本経済新聞出版社)、『プロの知的生産術』(PHP研究所)など。



今後もインタビュー記事を更新予定

お知らせメールでご案内します

第一弾として、内田和成さんのインタビュー記事をご紹介します。

今後も、各界の達人へのインタビューシリーズ

「情報収集・発想をプロに聞く!日経テレコンSpecialコラム」を随時、お届けします。

更新時には「お知らせメール」でご案内します。ぜひ、お知らせメールにご登録ください。

スマートフォンからの登録はこちら▶



PCから <https://t21s.jp/informationmail>

クリッピングに新機能が追加!

クリッピング機能とは

キーワードを設定するだけで 関連する新着記事を自動収集

特定のキーワードや検索条件を設定するだけで、該当する新着記事を自動収集!
ホーム画面への一覧表示やメールでの通知が可能です。
日々の欠かせない情報収集に活用していただけます。



メリット1	メリット2	メリット3
 <p>豊富な媒体から ピンポイントで情報収集</p> <p>クリッピング登録時に 「200超の媒体」×「キーワード」で絞り込み 必要な記事だけを表示・確認できます</p>	 <p>重要な情報の 見落としを防ぐ</p> <p>小さな記事も見逃さずに 毎日自動で収集 手間を省き、確実に情報収集</p>	 <p>タイムリーに 情報をキャッチアップ</p> <p>事前に登録した検索条件に ヒットした記事はメールで通知 スマートフォンでも閲覧可能</p>

例えばこんな使い方

営業



顧客名や競合企業名をキーワードとして設定し、日々の動向をチェック!より顧客に寄り添った提案が可能に。

マーケティング



業界のトレンドワードに関する記事を自動で収集。日頃は閲覧しない媒体もチェックされるので、新たな気付きや発想のきっかけに。

広報



200以上の媒体を網羅しているので漏れのないメディアモニタリングが可能に。新着記事やプレスリリースをメール通知設定し、情報収集の時間を大幅に短縮。

経営企画



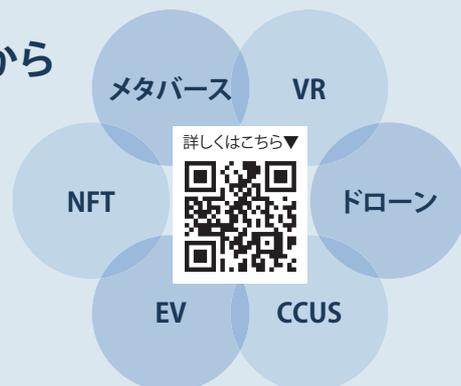
最新の業界情報や市場動向に関する情報をタイムリーに収集。経営戦略の立案や判断のスピードアップに。

新機能のご紹介

クリッピングのテーマが決まっていない方におすすめ

日経が選ぶ「話題のビジネステーマ」から 最新記事をチェック

NFT、メタバース、CCUSなど、新しいキーワードが次々に登場しています。最新の状況や動向を押さえた「ビジネステーマ」を選択するだけで、最新の関連記事を自動で収集。重要記事が頻出する媒体に絞り込む等、テーマに応じた検索調整を施しています。精度の高いビジネス情報の収集が可能です。



コンテンツ紹介①

絶対使いたい!定番コンテンツ

日経業界分析レポート

営業戦略や経営の意思決定を強力にサポート

日本経済新聞の記者が業界情報を網羅的に、分かりやすく解説。業界の特徴や現状、今後の展望を短時間で把握できます。

市場シェアや競争環境に加え、市場規模予測やバリューチェーン、技術・法規制の動向、グローバル市場の影響を盛り込み、新型コロナウイルスの影響についても随時更新しています。



詳しくはこちら▼



業界について一気通貫で理解が深まる

業界概要

業界構造

市場規模

業界トレンド

競争環境



与信管理に役立つ主要コンテンツ

大手調査会社が提供する複数の企業データベースを横断し、与信管理に必要な企業の評価・格付がわかりやすく収録されています。企業情報、財務情報をまとめて検索できるほか、信用リスクや倒産確率などを算出した複数の企業レポートが利用できます。非上場企業の情報も掲載しています。



100万社以上の企業の評価を収録

帝国データバンク

東京商工リサーチ

クレディセイフ

リスクモンスター

金融工学研究所

AGS

レコフデータ

日本経済新聞社

これ1冊で与信管理のポイントがわかる!

企業分析ハンドブック

- 取引先の評価方法を詳しく解説
- 企業の財務データの見方がわかる
- 企業の信用リスクを事前に分析し信頼できるパートナー選びに役立つ
- 与信管理の社内体制の作り方を解説



今すぐダウンロード▼



コンテンツ紹介②

スタートアップの情報収集に便利!

ケップル スタートアップ企業情報

取得が難しいスタートアップの企業情報を収録

今、勢いのあるスタートアップ企業約9,000社の情報をご提供。会社情報や事業概要、役員情報だけでなく、ファイナンス(資金調達状況)など無料の検索サイトでは見つけられない情報を1枚のレポートにまとめて掲載。企業の現状と立ち位置をより正確につかみ、業務提携や投資判断に有用な指標としてご利用いただけます。

日経テレコンではケップルが提供する
多彩な情報を取得することができます!

ケップルスタートアップ企業情報

毎月100社~300社の企業を新規で追加収録。既存の収録企業についても、最低1年ごとをメドに更新し、最新の情報を収集できます。自社の事業と親和性の高いスタートアップや、投資先として有望な成長力のある企業を見つけることができます。

ケップルスタートアップ活動情報

有望スタートアップの資金調達や提携、新サービスの情報をいち早くご提供。投資家からの出資に関する情報や、調達額や調達方法、調達目的なども体系的にまとめ、提携によって期待される効用・効果なども掲載しています。

バイオ系のスタートアップを発掘するなら

「日経バイオテック スタートアップ企業情報」

バイオ関連のスタートアップ約400社の事業内容から役員情報、資本政策、バイオ関連の主要プロジェクトや保有特許情報まで収録。約190社については、日経バイオテック編集部を中心とする専門記者が各社のコアテクノロジーの将来性を多角的に分析・解説した企業レポートを提供しています。

医薬品・創薬

医療機器

デジタルヘルス

フードテック

バイオマスエネルギー



詳しくはこちら▼



ケップルスタートアップ投資家情報

国内の企業やベンチャーキャピタルごとに、実施した出資や買収についてわかりやすくまとめています。投資活動を「出資」「M&A」「JV設立」に分類し、投資家ごとに過去の投資件数や投資対象企業の情報をご紹介します。

コンテンツは続々追加! 直近の新規・更新コンテンツ

コンテンツは随時拡充中です。裏表紙のQRコードからお知らせメールをご登録いただき、新しいコンテンツをぜひチェックしてみてください。

日経Tech MAP

日本経済新聞の記者が、注目されている最先端の成長技術を分かりやすく解説。グラフやデータを用いながら、国内外の動きや特許出願数などを中心に旬のテーマを深掘りしています。

詳しくはこちら▼



アスタミューゼ有望成長領域レポート

企業・特許情報の分析をもとにアスタミューゼ株式会社のアナリストが執筆した"未来を創る2030年の有望成長領域136"のレポートをご提供。新たな市場への進出やイノベーションの創出に、先端分野のアナリストが分析したレポートをご活用ください。

詳しくはこちら▼

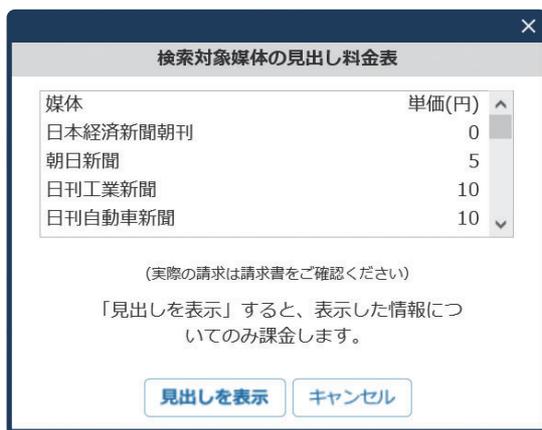


サポート案内

料金表示

課金前に料金表示があるから安心

記事検索や企業検索で有料コンテンツを表示する前に、ポップアップ画面で料金を表示することができます。



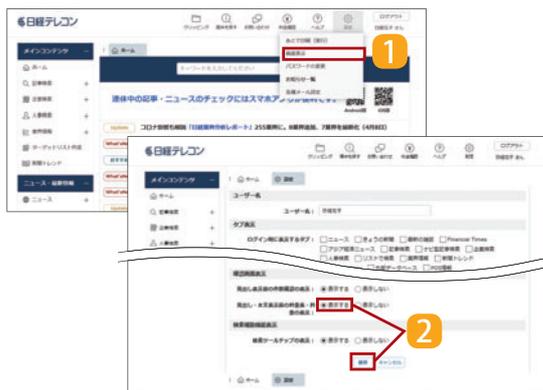
※「見出し」表示前イメージ



※「本文」表示前イメージ

課金前料金表示の設定方法について

- ▶画面上部の「設定」にマウスオンして表示されるメニューで、「画面表示」**1**を選択します。
- ▶「見出し・本文表示前の料金表・料金の表示」で「表示する」を選択した後「保存」をクリックしてください**2**。
- ▶検索対象媒体の見出しや本文を表示する前に、料金がポップアップで表示されます。

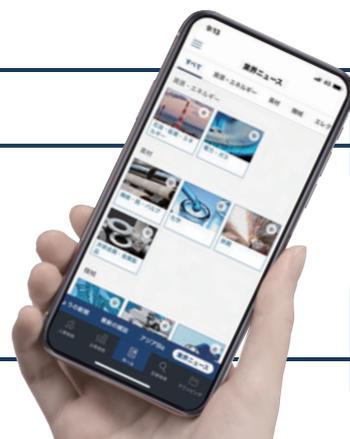


スマホアプリ

手軽にいつでも情報をチャージ!

移動中でもリモート中でも、
気になったらすぐに調べて
有益なビジネス情報をゲット。

詳しくはこちら▼



ヘルプデスク

困った時やご相談事項は、フォームか、お電話でお問い合わせください



0120-212-212

平日(月～金) 9:00～19:00

※ID・パスワード紛失については、セキュリティのため、電話やメールで対応出来ません。ご契約の代理店に直接お問合せください。



今すぐ登録
お知らせメール

話題の記事やおすすめのコンテンツを紹介!

話題の記事やおすすめコンテンツ、仕事に役立つ情報、講習会のお知らせなど、最新情報をお届けしています。

詳しくはこちら▼



お役立ち情報満載
サポートブログ

日経テレコンがもっと効果的に使える!

活用事例やお仕事での使い方、情報収集のノウハウまでブログでご紹介! ぜひチェックしてください。

詳しくはこちら▼



日経テレコン ログインはこちら

日経業界分析レポートが303業界に拡充
事業計画や営業戦略の立案を強力にサポート

NEW! 「東洋経済会社四季報」2022年春号に更新
NEW! 「東洋経済関係会社情報」の2022年版、約3万社を収録
NEW! クリップページ画面をリニューアル! ワンクリックで記事見出し一覧表示が可能に

日経記者が徹底分析する「日経業界分析レポート」が新たに9業界を追加し、303業界に拡充

市場シェアや競争環境に加え、今後の市場規模予測や技術・法規制、グローバル市場の動向などを、日本経済新聞の記者が網羅的に分析・解説。競合・提携関係を示す業界地図やバリューチェーンなどもビジュアル化し、分かりやすくなっています。

[使ってみる▶](#)

【今回追加した業界】
食品卸(水産)、映画館・劇場、映画製作、インターネットサービスプロバイダー、業務用頭髮化粧品、食品機械、REIT(種別:ホテル)、REIT(種別:住宅)、建築材料(コンクリート)

日経テレコンサポートブログ

サポートブログ

- MBAスクールからビジネス環境の変化を知る最新MBAランキング 2022年4月20日 [詳しく見る](#)
- 情報収集は日経テレコンで効率的に! 活用方法を「お知らせメール」でチェック 2022年4月13日 [詳しく見る](#)
- ビジネスヒントを見つける! 「ヒット商品集行」の秘密 2022年4月13日 [詳しく見る](#)
- 新コンテンツ追加! 「Daily Company」で「Business Insider Japan」 2022年4月11日 [詳しく見る](#)
- スタートアップ投資の利権をスピードアップ! 「ケッパ」スタートアップ投資情報 2022年4月7日 [詳しく見る](#)
- 情報収集で差をつける! 活用ガイド・スタートアップの活用 2022年4月13日 [詳しく見る](#)
- 最新動向を手軽に把握「業務サマリニュース」 2022年4月30日 [詳しく見る](#)
- 日本のMBAトレンドを知る MBA企業買収競争ランキング 2022年4月14日 [詳しく見る](#)
- 2022年春に更新! 食品250社種のシェアと社会貢献動向レポート 2022年4月25日 [詳しく見る](#)

日本経済新聞社 デジタルサービスヘルプデスク

0120-212-212 (平日午前9時~午後7時)

<https://t21.nikkei.co.jp/>